

教育委員会会議の概要（令和3年9月定例会）

- ◆ 日 時 令和3年9月27日（月）午後2時13分から午後2時50分まで
- ◆ 場 所 教育局 第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	福 田 洋 之	出 席
委員・教育長職務代理者	花 渕 浩 司	出 席
委 員	里 村 正 治	出 席
委 員	阿 子 島 佳 美	出 席
委 員	梅 田 真 理	出 席
委 員	川 又 政 征	出 席
委 員	後 藤 由 起 子	出 席

◆ 会議の概要

- 1 開 会
- 2 議事録承認 7月及び8月定例会
- 3 議事録署名委員の指名 阿 子 島 委 員

4 報 告 事 項

（1）教育委員会委員の任命について

（総務課長 説明）

口頭で報告

（2）令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

（学びの連携推進室長 説明）

資料に基づき報告

里 村 委 員 全国の平均と比較して議論をしており、それはそれでよいと思うが、1点確認しておきたいことがある。資料の小学生の正答数分布グラフについて、仙台市は全国と比較して似たような傾向を示しており、正答数が少ない児童の程度も同じであるが、この正答数の少ない児童にどのような特別な手を差し伸べるのか、そういった観点がないと、平均値の議論のみで終わってしまい、内容が深まらないと思う。全国平均と比

較してどうかというのも一つだと思うが、正答数の少ない児童をどうするかについて、きちんと説明をしなければいけないと思う。中学生のグラフをあわせて見てみると、国語の結果は全国よりも良い。小学生でも中学生のようなグラフの分布になるように努力をしていくことが大切で、現場では実際に取り組まれていると思うが、説明の際にその点に触れないというのは、何か大きなものが欠けているような印象を受けた。その辺りはいかがか。

学びの連携推進室長 全国及び仙台市の標準学力検査の結果をあわせて分析し、授業改善の取組みを検討しているところである。授業の中で平均に届かない児童生徒を引き上げることに授業の狙いを絞った形の提案をしていくことを、大学側と教育委員会側との共通の認識として進めており、その部分を授業の中できちんと解決できるようになることが理想である。

また、正答率が25%以下の層に対しては、担任の指導力に加えた支援の手、例えば学習支援員の補助など、そういった対策が重要になると思う。ただ、すべての教科、学級に学習支援員を配置することは難しいため、まずは必要性の高い算数・数学から着手したところである。

里 村 委 員 ぜひ、そうした観点から手を差し伸べる教育に力を入れていただきたい。それがいづれ統計の結果に現れてくることを期待したい。

梅 田 委 員 正答率の低い児童生徒に焦点を当て、授業の中でわかるようにするというのも大切だと思う。一方、正答率の高い層にいる児童生徒の、おもしろい、もっと学びたいという気持ちを大切にすることもまた重要である。みんなが分かることを目標にすると、すでに分かっている飽きている児童生徒も一方では生じるため、そのバランスや、もっと学びたい児童生徒への課題を工夫するなど、教員の負担になり過ぎないように形でご検討いただければと思う。また、先ほどの学習支援員については、個々の先生がどう活用するかということはもちろん大切だが、学校が組織としてどのように活用するかを考えていくように、今後の検討を進めていただければと思う。

学びの連携推進室長 学習支援員については、学校での活用場面などの相談を随時受け付けており、他の学校にも情報を共有し、よりよい活用方法を広めていければと思う。

後 藤 委 員 正答率の低い児童生徒の中には、1対1や少人数かつ対面であれば先生の話聞けるが、たくさんの児童生徒がいる中では、先生がいくら語り掛けてきたとしても話を聞けない、集中できないということがあると思う。1対30では伝わらないことでも、少人数で学習支援員を活用することで、もっと勉強ができるようになるのかもしれないと思った。

また、そういった環境にある児童生徒は、個別対応の塾に行くということも難しいと思う。教育委員会から指導し、学習支援員がそういった児童生徒に少人数で集中的に勉強を教えられる環境になれば、学力も上がるのではないかと思うし、そういった機会があれば良いと思った。

学びの連携推進室長 なかなか難しいところではあるが、手法や人員の活用についてどのような工夫ができるのか、学校と一緒に検討してみたいと思う。

阿 子 島 委 員 子どもたちが、授業中や放課後の活動などで、自発的に意見を述べたり、みんなの意見を聞いたりする部分が伸びてきているのはよかったと思う。一方、先生の中にはそこが見えづらいという方もいるので、コロナ禍においてグループでの話し合いなどは難しいとは思いますが、子どもたちができていると思っている部分を、先生方にもより

伸ばしていってもらいたいと思う。

また、「国語の勉強は好きですか」という設問について、前回の令和元年度調査では60%を超えていたが、今回は50%台となっている。ただ、その後の設問にある国語の勉強の大切さや将来役に立つかという部分は、肯定的な回答が多くなっている。算数・数学についても同様であるので、児童生徒が楽しんで授業を受け、それが身についていくような指導を、今後も続けていただきたいと思う。

学びの連携推進室長 授業提案を行っている以外にも、レベルアップ研修の中では、先生方に現場で実践していただくという考えで、できるだけ数多くの手法を紹介している。授業がわかるようになり、児童生徒が楽しいと思えるような工夫を一緒に考えていきたい。

(3) 令和4年仙台市成人式について

(生涯学習課長 説明)

資料に基づき報告

後藤委員 まずは、式典を開催していただけるということで、親にとっても子にとっても成人式は大きなものなので、とてもありがたい。きちんと感染対策を行い、粛々とやるべきことをやっていただけるということで、あとは参加するかどうかの判断は個人によるので、こういう形で開催すると案内を出していただければ、参加者側でもワクチン接種等の選択をすることができると思う。

ただ、一人暮らしをしている学生などは、副反応が怖いため、帰省のタイミングに合わせてワクチン接種を受けたいと考えていることが多いと思う。例えば、案内状の中に仙台市でのワクチン接種の案内を同封するとか、優先接種枠を設けるなどしていただければ、ワクチン接種率も上がるのではないかと思った。やはり、打ちたくても打てない、予約が取れない状況が続いているため、新成人が帰省するタイミングでワクチン接種が進むよう、案内をしていただければと思った。

生涯学習課長 成人式参加のために、接種枠を新たに設けることは難しい。ただ、仙台市のワクチン接種についての案内については、できることを検討していきたい。

5 付議事項

第22号議案 仙台市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について

(教育相談課長 説明)

原案のとおり決定

6 閉会